

経済統計学会
第 51 回 (2007 年度)
全国研究大会プログラム

専修大学・神田キャンパス 1号館
2007年9月15日(土)～9月16日(日)

経済統計学会・第51回全国研究大会実行委員会

専修大学経済学部 (生田キャンパス)
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
福島利夫研究室 TEL 044-900-7971 (直通)
044-900-7988 (研究室受付)
FAX 044-900-7849 (同上)
tfukusim@isc.senshu-u.ac.jp
全国研究大会開催地 (神田キャンパス)
〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8
TEL 03-3265-6821 (庶務課)

9月15日(土)

午前の部

9:00 受付開始
9:30—11:00 (併行セッション)

「自由論題(1)」会場: 201

座長: 矢野 剛 (徳島大学)

1. 吉田 央 (東京農工大学)・・・韓国における統計改革
2. 大西 広 (京都大学)・・・移行経済における「市場化」指標の選択について
—北朝鮮を例に—
3. 川副延生 (名古屋商科大学)・・・中国黒龍江省における農業改革前の国营農場の農業生産性について

「自由論題(2)」会場: 202

座長: 岩崎俊夫 (立教大学)

1. 藤山英樹 (獨協大学)・・・統計学と実験経済学の方法について
 2. 佐野一雄 (福井県立大学)・・・日本の株式市場における株価の分布特性について
 3. 杉森滉一 (中央大学)・・・エスニシティ統計と統計調査論
- 11:00—11:05 休憩
11:05—12:35 (併行セッション)

「自由論題(3)」会場: 201

座長: 小川雅弘 (大阪経済大学)

1. 櫻本 健 (立教大学院生)・・・93SNA Rev.1に向けた我が国の課題
—国際情勢の変化と課題の克服—
2. 泉 弘志 (大阪経済大学)・・・経済研究における全労働計算の意義
3. 戸塚茂雄 (青森大学)・・・過剰富裕化論と統計指標

共通論題「統計学史」会場: 202

座長: 木村和範 (北海学園大学)

1. 芝村 良 (日本大学)・・・戦後日本における数理統計学の受容と批判
2. 上藤一郎 (静岡大学)・・・日本における確率論の濫觴
3. 吉田忠 (京都大学名誉教授)・・・18世紀前半のオランダにおける確率論と統計利用論の展開
—N. ストルイクを中心に—

12:35—13:35 昼休み

午後の部

13:35—14:35 会員総会 (会場: 303)
14:35—14:50 休憩
14:50—17:50

共通論題「労働・生活・地域の不安定化と統計分析」会場: 303

コーディネーター: 福島利夫 (専修大学)・水野谷武志 (北海学園大学)
座長: 水野谷武志 (北海学園大学)

1. 伊藤伸介 (明海大学)・・・マイクロデータによる若年層の就業状況の分析—世帯属性に着目して—

- 鳴海清人 (北海道労働保健管理協会)・・・医療制度改革による国民の医療保障への影響
 - 稲葉房子(横浜市金沢区)・藤江昌嗣 (明治大学)・・・地域力をアップさせるためのアンケート調査
—『キラキラ輝くかなざわっこアンケート』の取組みを例に—
 - 菊地 進 (立教大学)・・・地域経済活性化と統計の役割に関する検討
—民間調査の利活用を含めて—
予定討論者：廣嶋清志 (島根大学)・本間照光 (青山学院大学)
- 18:00 懇親会(会場：1 5 階ホール)

9月16日(日)

午前の部

10:00—12:00

特別セッション「これからの統計教育」会場：3 0 3

コーディネーター：福島利夫 (専修大学)・御園謙吉 (阪南大学)
座長：池田 伸 (立命館大学)

- 近 昭夫 (西南女学院大学)・・・これからの統計教育のあり方 (1)
—『現代の社会と統計』(産業統計社)を素材に—
- 上藤一郎 (静岡大学)・・・これからの統計教育のあり方 (2)
—『調査と分析のための統計』(丸善)を素材に—
- 御園謙吉 (阪南大学)・・・これからの統計教育のあり方 (3)
—『よくわかる統計学—実証分析編』(ミネルヴァ書房)のねらい—
- 金子治平 (神戸大学)・・・これからの統計教育のあり方 (4)
—『よくわかる統計学—基礎編』(ミネルヴァ書房)のねらい—
- 岩崎俊夫 (立教大学)・・・これからの統計教育のあり方 (5)
—『経済系のための情報活用』(実教出版)を素材に—

12:00—13:00 昼休み

午後の部

13:00—16:00

共通論題「ジェンダー平等戦略と統計」会場 3 0 3

コーディネーター：杉橋やよい (金沢大学)
座長：橋本紀子 (女子栄養大学)

- 居城舜子 (常葉学園大学)・・・賃金の平等戦略の新動向と課題
- 杉橋やよい (金沢大学)・・・共稼ぎ世帯の夫妻の勤め先収入の分析
—全国消費実態調査のマイクロデータを用いて—
- 水野谷志志 (北海学園大学)・天野晴子 (日本女子大学)・齊藤ゆか (聖徳大学)・
粕谷美砂子 (昭和女子大学)・松葉口玲子 (岩手大学)・伊藤純 (昭和女子大学)
・・・主行動・同時行動についての新しい集計および分析の試み
—東京都世田谷区在住雇用労働者夫妻の生活時間調査から—
- 伊藤陽一 (法政大学)・・・地方ジェンダー統計の充実・発展に向けての諸提起

予定討論者：鷲谷 徹 (中央大)

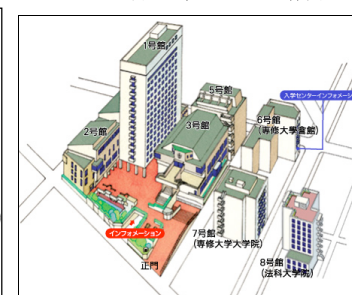
16:00 閉会挨拶

- 全国研究大会への出欠ハガキは8月15日までに必ずお送り下さい。9月16日(日)の弁当の要・不要についてもお知らせ下さい。コンビニ以外は、多くの店は日曜が定休日です。
- 大会参加費は、一般3,000円、院生1,000円、懇親会費は一般5,000円、院生3,000円です。
- 経済統計学会・理事会は2007年9月14日(金)午後3時に開催いたします。
会場：神田キャンパス1号館8階8C会議室
- 全国研究大会の報告者は、報告要旨集の原稿(A4で2枚分、ただし「統計教育」セッションについてはA4で1枚分：提出期限8月10日)とは別に、当日配布用の報告レジュメの作成をお願いいたします。自由論題の報告者は60部、共通論題および特別セッションの報告者は100部をご用意下さい。事前に送られる場合は、9月12日までに(必着)、以下の宛先にお送り下さい。宛先は神田キャンパスとは違いますのでご注意ください。
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1 専修大学経済学部・福島利夫研究室 気付・経済統計学会大会実行委員会宛
- 報告者で、機器等の使用を希望される方は、あらかじめお知らせ下さい。

***専修大学・神田キャンパス案内地図**



***神田キャンパス・立体図**



*** 交通案内**

- ・ **水道橋駅** (JR) 西口より徒歩7分
 - ・ **神保町駅** (地下鉄：半蔵門線、都営三田線、都営新宿線) 出口A2より徒歩3分
 - ・ **九段下駅** (地下鉄：半蔵門線、東西線、都営新宿線) 出口5より徒歩3分
- 東京駅からの場合は、以下の経路が利用できます。

1. JR 中央線・快速で御茶ノ水駅→御茶ノ水駅で各停 (JR 総武線) に乗り換えて水道橋駅へ
2. 地下鉄・丸ノ内線で大手町駅→大手町駅で半蔵門線に乗り換えて神保町駅へ

全国プログラム委員会

委員長：福島利夫 (関東支部)

木村和範 (北海道支部)、深川通寛 (東北支部)、岩崎俊夫 (関東支部)、芝村 良 (関東支部)、
小川雅弘 (関西支部)、中敷領孝能 (九州支部)

経済統計学会・第51回全国研究大会実行委員会

福島利夫 (委員長)、伊藤伸介、岩崎俊夫、唐鎌直義、菊地進、坂田幸繁、芝村 良、田浦 元、
藤江昌嗣、森 博美、山田 満、吉田 央、李 潔 (50音順)